

龍御前神社

龍御前神社は温泉津町を代表する神社であり、海と温泉という町の二大繁栄の源にゆかりのある神々を祀っています。地元の人たちは、古くから海の安全と無病息災を祈願し、そして入浴の健康効果を祈願しに訪れています。神社が正式に創建されたのは 1532 年ですが、実際は、その場所はそれよりずっと以前から崇拝の場として利用されてきました。崇敬の対象である咆哮する龍に模されている巨岩が、小さな本殿のすぐ上の崖から突き出ているのを見ることができます。遠い古代では、岩や木などの自然の造詣が神の住処として崇拝されることが多く、建物の中に神を祀るという考え方が広まったのは後のことです。崖のふもとにあるのは拝殿で、神道の神々を祀る神楽を舞うために設計されたため、非常に大きくなっています。石見神楽は、今も地域で親しまれている民俗芸能です。毎週土曜日の夕方には、拝殿で儀式の踊りが行われ、その際には拝殿内に展示されている船などをモチーフにした絵馬の展示を見ることができます。